

疥癬(カイセン)

疥癬はダニの一種であるヒゼンダニ(疥癬虫)がヒトの皮膚に寄生して、プツプツやかゆみを生じる皮膚病です。第二次世界大戦後、大流行し、一時、おさまっていましたが、最近、再び、流行しています。疥癬は伝染力が強いので適切な治療と対策が必要です。

今回は、よく質問される、疥癬についての疑問点についてお答えします。

質問:疥癬虫は皮膚のどこにいるのですか？

回答:表皮の角質に寄生します。オスとメスでは行動が異なり、オスは皮膚を動きまわりますが、メスはあまり動きまわらず、角質層にトンネルを掘って産卵します。ですから、検査で皮膚を削って見つかるのはほとんどメスの疥癬虫です。

質問:疥癬の症状は？

回答:疥癬虫は指の間や脇など、皮膚の柔らかい所を好んで生息しますので、指の間や脇にかゆみの強いプツプツがあると疥癬の可能性があります。疥癬は伝染力が強いので、家族に一人でも疥癬の人がいると、他の人にもうつってしまいます。ですから、家族や職場で同じようなプツプツした皮膚症状の人が複数いる場合は疥癬の可能性があります。

質問:疥癬の治療は？

回答:治療薬として、今までは、塗り薬しかありませんでした。塗ったところはよくなっても、うまく塗れなかったところの疥癬虫が増えて再発したり、全身に塗るのは大変で、なかなか、治りにくい皮膚病の一つでした。最近、疥癬に対する新しい飲み薬が開発されています。疥癬の飲み薬は1日内服するだけで、皮膚の疥癬虫はいなくなります。疥癬の卵には、効きませんので1週間後にもう一度内服するとほぼ完全に皮膚の疥癬虫はいなくなります。

質問:疥癬にならないためには？

回答:皮膚と皮膚が触れて人にうつりますので、疥癬の方にお薬を塗ってあげたり、介護をされる場合は手袋を使用するなどの注意が必要です。疥癬虫が、皮膚に侵入するまでに数時間を要しますので、手洗いは感染防御に有効です。手洗いは他の感染症を防ぐこともできますので、是非、手洗いの習慣をつけてください。疥癬とそれ以外の皮膚炎との区別は、自己判断せずに、皮膚科でご相談ください。家族に何人か疥癬の人がいる場合は、一緒に治療することが必要です。でないと一人がよくなっても、治っていない人からまたうつってしまうからです。

文責(森田秀樹)